

病虫害発生予察情報

向こう1ヶ月(9月)の予報

平成29年度 予報第5号

東京都病虫害防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

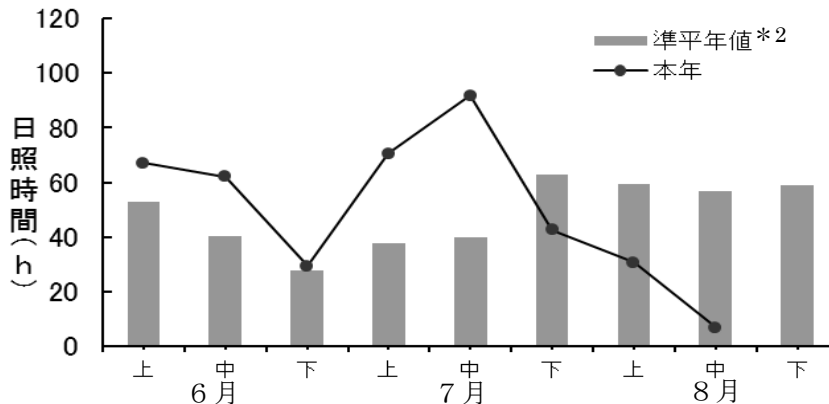
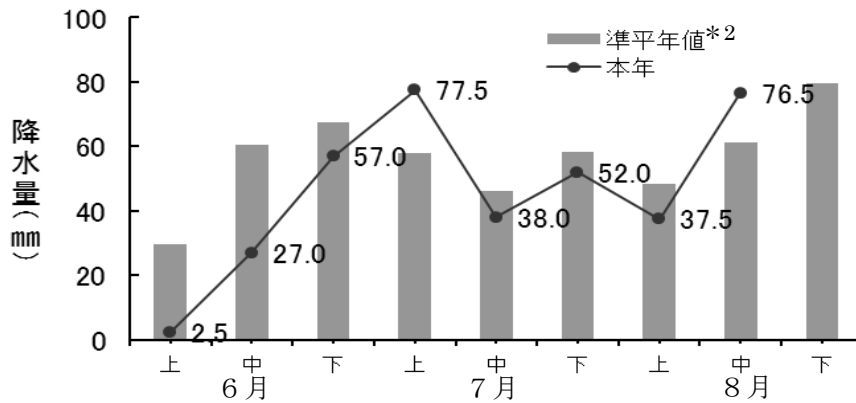
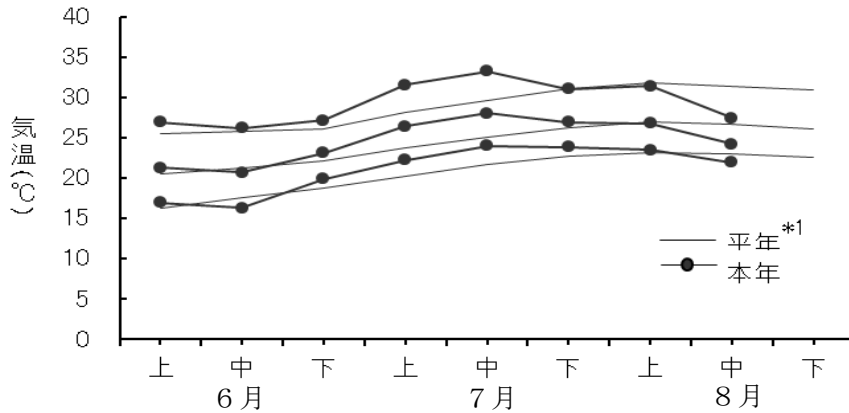
e-mail:

S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成29年8月24日 気象庁 地球環境・海洋部発表, 関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	40	40
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

【気温・降水量・日照時間の経過】 平年値及び準平年値と本年の8月中旬までのデータを示した。(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1981-2010の平均値, *2: 1987-2010の平均値

トマト黄化葉巻病 (TYLCV) に注意しましょう！

収穫終了後、放置されたままの露地および施設トマトで本病に感染した株が認められることがあります。

- ★ このような株は抑制および促成長期採り栽培での感染源になりますので、速やかに抜き取り、完全に枯死させてから廃棄しましょう。
- ★ 施設の場合は、晴天日の連続2日以上蒸し込みが、媒介虫であるタバココナジラミの施設外分散防止に効果的です。

【病害虫発生予報】 (各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す)

I イネの病害虫

1. いもち病 (穂いもち)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 水田をよく観察し、現在、葉いもちの発生が認められる場合は、今後の天候に留意し薬剤を散布する。

2. 紋枯病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. 斑点米カメムシ類 (主にアカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリカメムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 水田周辺の雑草地におけるすくい取り調査での発生量は、アカヒゲホソミドリカスミカメは平年並、クモヘリカメムシはやや少ない。(±)
- 2) アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は、平年より少ない。(－)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 穂揃い、開花の遅れている水田では発生に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。
- 3) 地域ごとに一斉防除すると防除効果が高い。

4. トビイロウンカ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生を確認できない。(－)
- 2) 予察灯への誘殺はなかった。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 本種は東南アジア等から梅雨期に飛来し、秋にかけて世代を繰り返し密度を増加させる(秋ウンカと呼ばれる)。
- 2) 著しく発生量が多くなると9月下旬から10月にかけて坪枯れを起こす。
- 3) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

5. セジロウンカ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 予察灯への誘殺数は平年並である。(±)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

II 果樹の病害虫

1. 果樹共通 チャバネアオカメムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 予察灯への誘殺数、フェロモントラップでの誘殺数はともに平年よりやや少ない。(－, －)
- 2) 本種の主要な餌であるスギ、ヒノキ科植物の球果量は平年よりやや少ない。そのため、当年世代の発生量は平年よりやや少ない。(－)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 園内を見回り、早期に飛来状況を把握する。
- 2) 飛来数が多い場合は、防除指針に従い防除する。

III 茶樹の病害虫

1. 炭疽病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. カンザワハダニ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、寄生葉率は 0% で少ない。(－)
 - 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
- (±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。

IV 野菜の病害虫

1. キャベツの黒腐病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
 - 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
- (±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

2. コマツナおよびカブの炭疽病（露地）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
 - 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
- (+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 雨よけは本病の防除に有効である。

3. アブラナ科野菜類のコナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
 - 2) フェロモントラップ調査では誘殺数は少ない。(－)
 - 3) 今後、増加期に当たる。(＋)
 - 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
- (±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照して作物ごとに防除する。

4. アブラナ科野菜類のハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
 - 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
- (±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。また防除指針のハイマダラノメイガの項を参照する。

- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。
- 3) 寄生株率は圃場ごとの変動が大きい。

5. アブラナ科野菜類のキスジノミハムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(一)
- 2) 予察灯への誘殺数は少ない。(一)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。

6. ナスのうどんこ病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

7. ナスのハダニ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

8. ナスのチャノホコリダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。
(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

9. ネギのさび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。

(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

10. ネギの黒斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。

(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

11. 野菜共通 コナジラミ類

予報内容

発生量 オンシツコナジラミ：やや少
タバココナジラミ：並

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではオンシツコナジラミ、タバココナジラミともに発生はやや少ない。(－, －)
- 2) タバココナジラミは今後、増加期にあたる。(＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。

(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 0.4mm 以下の目合いの防虫ネットや近紫外線カットフィルムの展張など、物理的防除に努める。
- 2) 都内ではタバココナジラミのうちバイオタイプ Q が占めているため、タイプ Q に有効な薬剤を選択し、適正に使用する。
- 3) トマト黄化葉巻病の発病株は発見次第、直ちに抜き取って処分する。

12. 野菜共通 ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) フェロモントラップ調査では、誘殺数はやや多い。(＋)
- 3) 今後、増加期に当たる。(＋)
- 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。

(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参考にして作物ごとに防除する。
- 2) 本種は突然多発することがあるので、今後、葉裏への産卵に注意する。

13. 野菜共通 カブラヤガ (ネキリムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) フェロモントラップ調査では、誘殺数はやや少ない。(－)
- 2) 今後、増加期に当たる (＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。

(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 定植苗に被害が出たら周辺を掘り起こして捕殺する。
- 2) 防除指針を参考にして作物ごとに防除する。

1 4. 野菜共通 オオタバコガ

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) フェロモントラップ調査では誘殺数はやや多い。(＋)
- 3) 今後、増加期に当たる。(＋)
- 4) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むので排泄糞に注意する。被害果や花蕾は放置せず、速やかに処分する。
- 2) キャベツ、ハクサイ、トマト、ナス、インゲン、ピーマンなどのほか、バラ、キク、カーネーションなども加害する。
- 3) 作物ごとに防除指針を参考にして防除する。

インターネット上の防除所ホームページ
[http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/
nourin/shoku/anzen/boujyo/](http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

☆ 病虫害の発生予報，発生状況，防除方法などをお知らせ
しています。

☆ **防除指針オンライン版（平成 29 年版）公開中！**
(防除指針正誤表等，最新情報をご確認下さい)

☆ 農薬に関する詳しい情報は，農林水産省ホームページの
「農薬コーナー」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>)